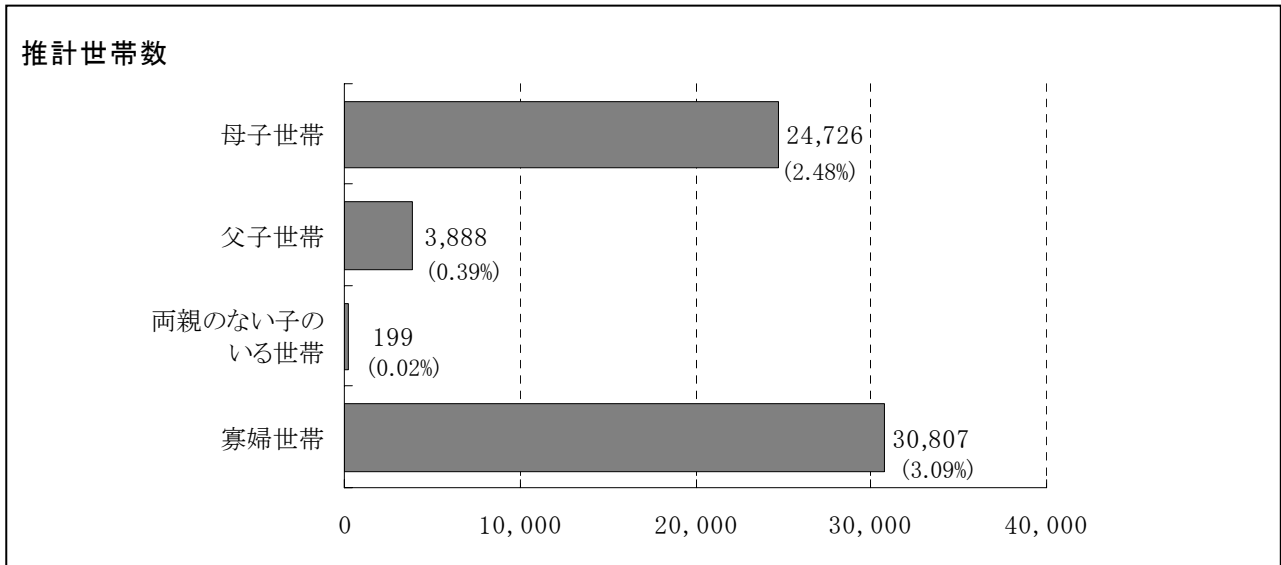


# 1 推計

推計世帯数は、母子世帯約 24,700 世帯、父子世帯約 3,800 世帯、両親のない子のいる世帯約 200 世帯、そして寡婦世帯約 30,000 世帯である



調査の各地区での該当世帯の世帯数より算出した推計世帯数と出現率は母子世帯 24,726 世帯(出現率 2.48%)、父子世帯 3,888 世帯(0.39%)、両親のない子のいる世帯 199 世帯(0.02%)、そして寡婦世帯 30,807 世帯 (3.09%) である。

## 母子、父子、両親のない子のいる世帯、寡婦世帯の世帯数または推計世帯数及び出現率の推移

	総世帯数	母子世帯		父子世帯		両親のない子のいる世帯		寡婦世帯	
		世帯数	出現率 (%)	世帯数	出現率 (%)	世帯数	出現率 (%)	世帯数	出現率 (%)
平成 20 年度	997,003	24,726	2.48	3,888	0.39	199	0.02	30,807	3.09

	総世帯数	母子世帯		父子世帯		両親のない子のいる世帯		寡婦世帯	
		世帯数	出現率 (%)	世帯数	出現率 (%)	世帯数	出現率 (%)	世帯数	出現率 (%)
平成 15 年度	931,156	27,004	2.90	4,749	0.51	279	0.03	46,558	5.00
平成 10 年度	873,863	18,942	2.17	2,936	0.34	239	0.03	31,355	3.59
平成 5 年度	825,687	17,028	2.06	2,552	0.31	413	0.05	27,847	3.37
昭和 61 年度	742,658	15,784	2.13	1,987	0.27	197	0.03	-	-
昭和 57 年度	713,820	14,047 ※3	1.97	1,976	0.28	-	-	-	-

- ※1 平成 5 年度、10 年度調査は訪問調査により、対象世帯を特定して調査票を配布  
平成 15 年度、平成 20 年度は、郵送配布により対象世帯に該当するか否かも含めて回答により調査したため、推計世帯算出方法が異なる
- ※2 平成 5 年度以降は、抽出調査のため推計世帯数、他は全数調査からの結果
- ※3 両親のない子のいる世帯を含む

母子、父子、両親のない子のいる世帯及び寡婦世帯数・出現率（推計）

平成20年6月1日現在

	総世帯数	母子世帯		父子世帯		両親のない子のいる世帯		寡婦世帯	
		推計世帯数	出現率	推計世帯数	出現率	推計世帯数	出現率	推計世帯数	出現率
名古屋市計	997,003	24,726	2.48	3,888	0.39	199	0.02	30,807	3.09
千種区	77,734	1,065	1.37	163	0.21	0	0.00	2,604	3.35
東区	36,462	503	1.38	69	0.19	0	0.00	1,524	4.18
北区	73,977	2,441	3.30	370	0.5	30	0.04	2,885	3.90
西区	63,900	863	1.35	166	0.26	0	0.00	1,291	2.02
中村区	66,299	802	1.21	225	0.34	0	0.00	2,347	3.54
中区	44,603	745	1.67	205	0.46	0	0.00	1,722	3.86
昭和区	52,570	478	0.91	142	0.27	0	0.00	1,235	2.35
瑞穂区	47,681	653	1.37	143	0.30	0	0.00	1,211	2.54
熱田区	29,346	581	1.98	82	0.28	9	0.03	1,186	4.04
中川区	90,309	3,874	4.29	361	0.40	36	0.04	3,025	3.35
港区	61,002	2,538	4.16	384	0.63	43	0.07	1,976	3.24
南区	61,618	1,959	3.18	302	0.49	6	0.01	1,713	2.78
守山区	64,857	1,271	1.96	246	0.38	32	0.05	2,296	3.54
緑区	85,236	2,574	3.02	375	0.44	9	0.01	1,995	2.34
名東区	70,370	1,316	1.87	232	0.33	0	0.00	1,351	1.92
天白区	71,039	1,286	1.81	284	0.40	0	0.00	2,124	2.99

※出現率の算出方法（母子世帯の場合）

	a	b	c	d	e	f	g	h	i
	調査区世帯数	調査区内で母子とみられる世帯数	回収数	対象数	対象割合	推定母子世帯数	出現率	各区世帯数	推計世帯数
千種区	11,102	160	64	61	95.31	152	1.37	77,734	1,065
東区	3,755	52	23	23	100	52	1.38	36,462	503
北区	14,476	486	59	58	98.31	478	3.3	73,977	2,441
西区	6,914	93	54	54	100	93	1.35	63,900	863
中村区	7,251	90	51	50	98.04	88	1.21	66,299	802
中区	6,755	113	36	36	100	113	1.67	44,603	745
昭和区	5,948	54	36	36	100	54	0.91	52,570	478
瑞穂区	4,965	70	38	37	97.37	68	1.37	47,681	653
熱田区	3,939	78	23	23	100	78	1.98	29,346	581
中川区	16,017	704	81	79	97.53	687	4.29	90,309	3,874
港区	10,030	417	44	44	100	417	4.16	61,002	2,538
南区	11,281	366	50	49	98	359	3.18	61,618	1,959
守山区	8,525	170	58	57	98.28	167	1.96	64,857	1,271
緑区	13,340	408	76	75	98.68	403	3.02	85,236	2,574
名東区	9,198	172	67	67	100	172	1.87	70,370	1,316
天白区	9,843	180	83	82	98.8	178	1.81	71,039	1,286
合計	143,339	3,613	843	831	98.58	3,559	2.48	997,003	24,726

推計世帯数算出の方法

- a 調査対象とした調査区(全2,000区)の中に、何世帯あるかを求める
- b aから抽出した母子とみられる世帯数を求める(ただし調査対象は1調査区につき1世帯)
- c 各区の回収数を求める
- d cのうち、「対象であった世帯」を求める
- e 回収数に対して、どれだけの割合が対象数であったかを求める
- f eをbに乗じて、抽出した母子とみられる世帯数あたりの対象数を算出する
- g fをaで除して、調査区世帯数に対する母子世帯の出現率を算出する
- i gを各区の世帯数(h)に乗じて、世帯数あたり母子世帯数を算出する

〔千種区の例〕

$$\begin{aligned}
 & (61 \text{ 世帯} / 64 \text{ 世帯}) * 100 = 95.31\% \\
 & (95.31\% * 160 \text{ 世帯}) / 100 = 152 \text{ 世帯} \\
 & (152 \text{ 世帯} / 11,102 \text{ 世帯}) * 100 = 1.37\% \\
 & (1.37\% * 77,734 \text{ 世帯}) / 100 = 1,065 \text{ 世帯}
 \end{aligned}$$

父子以下も同様の方法を繰り返す。(ただし、両親不在はすべて対象世帯)